

大学番号：281

注3

[平成30年度設置]

計画の区分：大学院の設置

注1

認可

純真学園大学大学院 保健医療学研究科 看護学専攻 (M)

保健衛生学専攻 (M)

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人純真学園
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 大学事務局

職名・氏名 事務局長 ナカムラ 中村 マサヒコ 昌彦

電話番号 092-554-1255

(夜間) 設置なし

F A X 092-552-2707

e-mail shomu@junshin-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学研究科

< 看護学専攻 >	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

< 保健衛生学専攻 >	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	31
2. 授業科目の概要	35
3. 施設・設備の整備状況、経費	40
4. 既設大学等の状況	41
5. 教員組織の状況	42
6. 附帯事項等に対する履行状況等	53
7. その他全般的事項	54

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人純真学園

(2) 大学名

純真学園大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒815-8510

福岡県福岡市南区筑紫丘1丁目1番1号

〒810-0065

福岡県福岡市中央区地行浜1丁目8番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フクダ ヨウノスケ) 福田 庸之助 (平成12年2月17日)		
学長	(フクダ ヨウノスケ) 福田 庸之助 (平成23年4月1日)		
副学長	(カトウ リョウジ) 加藤 亮二 (平成27年4月1日)	後任なし	平成31年3月31日任期満了による退任(元)
	(ムラナカ トオル) 村中 光 (平成30年4月1日)		
研究科長	(ムラナカ トオル) 村中 光 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学研究科 看護学専攻 修士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	2 年	6 人	- 人	12 人	基礎となる学部等 保健医療学部 看護学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	6	-	6	-	0.83 倍	- 倍	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5	-	5	-			
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5	-	5	-			
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5	-	5	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	0.83	-	0.83	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1年次	[-] (-)	5	-	5	-								
2年次	/		-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	
			[-] (-)										
3年次	/		/		-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-] (-)								
4年次	/		/		/		-	-	-	-	-	-	
							[-] (-)						
計	[-] (-)	5		10									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	
平成28年度	-	-	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
平成29年度	-	-	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	5 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	10 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学研究科 看護学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	多職種連携医療論Ⅰ	1前	1			1						7	
	多職種連携医療論Ⅱ	2前	1			1	1					2	
	保健医療技術論	1前	1				1					3	
	コンサルテーション論	1後	1			1						2	
	健康増進科学	1前		1			1					2	
	食品機能学	1後		1								4	
	医療倫理論	1・2前	1									1	
	医療マネジメント論	1・2前		1		1							
	医療政策論	1・2前		1		1							
	医療統計学	1・2前		1								1	
	災害医療論	1後		1			1					3	
	地域保健医療論	1前		1								2	
	保健医療情報論	1前		1								1	
	実践医療英語	1前		1								3	
小計(14科目)	-		5	9	0	4	2	0	0	0	0	25	
専攻共通科目	看護研究方法論Ⅰ	1前	1			2							
	看護研究方法論Ⅱ	1後	1			2							
	看護心理学	1後	1			1							
	フィジカルアセスメント特論	1後	1			2	1	2			1		
	看護理論特論	1前	1			3							
	臨床薬理学特論	1後		1								3	
	臨床栄養学特論	2前		1								2	
	リスクマネジメント	1後		1								2	
	組織管理学特論	1後		1					1			1	
	家族看護特論	1前		1		1	1						
	看護教育学	1後		1		2							
疫学	2前		1		1						2		
小計(12科目)	-		5	7	0	7	2	2	1	0	0	9	
分野専門科目	看護の基盤分野	看護の基盤特論	1・2前		2		1		1				
		看護技術特論	1後		2				1	1			
		看護教育特論	1後		2		1						
		看護管理特論	1後		2		1			1			1
		看護の基盤演習	1通		2		1		1	1			
		小計(5科目)	-		0	10	0	2	0	1	1	0	0
	臨床実践看護分野	臨床実践看護特論	1・2前		2		2	1	1				
小児看護特論		1後		2		1		1					
成人急性期看護特論		1後		2		1							
成人慢性期看護特論		1後		2			1		1				
老年看護特論		1後		2		1							
臨床実践看護演習		1通		2		2	1	2	1				
小計(6科目)	-		0	12	0	3	1	2	1	0	0		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	多職種連携医療論Ⅰ	1前	1			1						7	
	多職種連携医療論Ⅱ	2前	1			1	1					2	
	保健医療技術論	1前	1					1				3	
	コンサルテーション論	1後	1					2				1	
	健康増進科学	1前		1			1	0				1	
	食品機能学	1後		1								4	
	医療倫理論	1・2前	1									1	
	医療マネジメント論	1・2前		1		1							
	医療政策論	1・2前		1		1							
	医療統計学	1・2前		1								1	
	災害医療論	1後		1					1			3	
	地域保健医療論	1前		1				1				0	
	保健医療情報論	1前		1								1	
	実践医療英語	1前		1								3	
小計(14科目)	-		5	9	0	5	3	0	0	0	0	23	
専攻共通科目	看護研究方法論Ⅰ	1前	1			2							
	看護研究方法論Ⅱ	1後	1			2							
	看護心理学	1後	1			1							
	フィジカルアセスメント特論	1後	1			2	1	2				0	
	看護理論特論	1前	1			3		2					
	臨床薬理学特論	1後		1								3	
	臨床栄養学特論	2前		1								2	
	リスクマネジメント	1後		1				1				1	
	組織管理学特論	1後		1				1		1		0	
	家族看護特論	1前		1		1	1						
	看護教育学	1後		1		2							
疫学	2前		1		1						2		
小計(12科目)	-		5	7	0	9	2	1	1	0	0	8	
分野専門科目	看護の基盤分野	看護の基盤特論(未開講)	1・2前		2		2		0				
		看護技術特論	1後		2		1		0	1			
		看護教育特論	1後		2		1						
		看護管理特論	1後		2		1				1		0
		看護の基盤演習(未開講)	1通		2		2		3	0	1		
		小計(5科目)	-		0	10	0	3	0	0	1	0	0
	臨床実践看護分野	臨床実践看護特論	1・2前		2		2	1	1				
小児看護特論		1後		2		1		1					
成人急性期看護特論		1後		2		1		0	1				
成人慢性期看護特論		1後		2			1			1			
老年看護特論		1後		2		1							
臨床実践看護演習		1通		2		2	1	2	1	1			
小計(6科目)	-		0	12	0	2	2	1	1	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
分野専門科目	生活支援看護特論	1・2前	2			3						1
	ウイメンズヘルスケア特論	1後	2			1						
	メンタルヘルスケア特論	1後	2			1	1					
	在宅看護学特論	1後	2			1	1					
	生活支援看護演習	1通	2			3	2					2
	小計(5科目)	-	0	10	0	3	2	0	0	0	0	2
特別研究	特別研究	1~2通	6			10	4	2	1			
	小計(1科目)	-	6	0	0	10	4	2	1	0	0	0
合計(43科目)			-	16	48	0	10	5	4	2	0	30
卒業要件及び履修方法												
研究科共通科目8単位以上(必修5単位、選択3単位以上)、専攻共通科目8単位以上(必修5単位、選択3単位以上)、選択した分野の特論と演習を含む分野専門科目6単位とその他の分野の特論をあわせて8単位以上、および特別研究6単位の30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本大学院が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
分野専門科目	生活支援看護特論	1・2前	2			4						0
	ウイメンズヘルスケア特論	1後	2			1						
	メンタルヘルスケア特論	1後	2			1	1					
	在宅看護学特論	1後	2			1	0					
	生活支援看護演習	1通	2			4	1					0
	小計(5科目)	-	0	10	0	4	1	0	0	0	0	0
特別研究	特別研究	1~2通	6			12	3	0	1			
	小計(1科目)	-	6	0	0	12	3	0	1	0	0	0
合計(43科目)			-	16	48	0	12	3	1	2	0	27
卒業要件及び履修方法												
研究科共通科目8単位以上(必修5単位、選択3単位以上)、専攻共通科目8単位以上(必修5単位、選択3単位以上)、選択した分野の特論と演習を含む分野専門科目6単位とその他の分野の特論をあわせて8単位以上、および特別研究6単位の30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本大学院が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	多職種連携医療論Ⅰ	1前	1			1						7
	多職種連携医療論Ⅱ	2前	1			1	1					1
	保健医療技術論	1前	1				1					3
	コンサルテーション論	1後	1			2						1
	健康増進科学(未開講)	1前		1			1					2
	食品機能学	1後		1								4
	医療倫理論	1・2前	1									1
	医療マネジメント論	1・2前		1		1						
	医療政策論	1・2前		1		1						
	医療統計学	1・2前		1								1
	災害医療論	1後		1			1					3
	地域保健医療論(未開講)	1前		1								1
	保健医療情報論	1前		1								1
	実践医療英語	1前		1								3
	小計(14科目)	-	5	9	0	4	2	0	0	0	0	23
専攻共通科目	看護研究方法論Ⅰ	1前	1			1	1					
	看護研究方法論Ⅱ	1後	1			1	1					
	看護心理学	1後	1			1						
	フィジカルアセスメント特論	1後	1			2	3	2				0
	看護理論特論	1前	1			2						
	臨床薬理学特論(未開講)	1後		1								3
	臨床栄養学特論	2前		1								2
	リスクマネジメント	1後		1		1						1
	組織管理学特論	1後		1		1			1			0
	家族看護特論(未開講)	1前		1		0	1					
	看護教育学	1後		1		2						
	疫学	2前		1		1						2
	小計(12科目)	-	5	7	0	7	4	2	1	0	0	8

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
分野専門科目	看護の基盤特論	1・2前		2		1		1				
	看護技術特論(未開講)	1後		2				1	1			
	看護教育特論	1後		2		1						
	看護管理特論	1後		2		1			1			0
	看護の基盤演習	1通		2		1		1	1			
	小計(5科目)	-	0	10	0	2	0	1	1	0		0
	臨床実践看護特論(未開講)	1・2前		2		1	1	1				
	小児看護特論(未開講)	1後		2		1		1				
	成人急性期看護特論(未開講)	1後		2		0	1					
	成人慢性期看護特論(未開講)	1後		2			1		1			
	老年看護特論(未開講)	1後		2		1						
	臨床実践看護演習(未開講)	1通		2		1	1	2	1			
	小計(6科目)	-	0	12	0	2	2	2	1	0		0
	生活支援看護特論(未開講)	1・2前		2			3					1
	ウィメンズヘルスケア特論(未開講)	1後		2		1						
メンタルヘルスケア特論(未開講)	1後		2		1	1						
在宅看護学特論(未開講)	1後		2		1	1						
生活支援看護演習(未開講)	1通		2		3	2					1	
小計(5科目)	-	0	10	0	3	2	0	0	0		1	
特別研究	1~2通	6			9	4	2	1				
小計(1科目)	-	6	0	0	9	4	2	1	0		0	
合計(43科目)	-	16	48	0	9	5	4	2	0		27	
卒業要件及び履修方法												
研究科共通科目8単位以上(必修5単位、選択3単位以上)、専攻共通科目8単位以上(必修5単位、選択3単位以上)、選択した分野の特論と演習を含む分野専門科目6単位とその他の分野の特論をあわせて8単位以上、および特別研究6単位の30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本大学院が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・兼任教員の就任辞退により、「多職種連携医療論Ⅱ」の兼任・兼任を「2」から「1」に変更。
- ・兼任教員の死去に伴う後任補充により、「コンサルテーション論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、兼任・兼任を「2」から「1」に変更。
- ・兼任教員の就任辞退により、「地域保健医療論」の兼任・兼任を「2」から「1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により、「看護研究方法論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により、「看護研究方法論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・専任教員およびの兼任教員の就任辞退に伴う後任補充により、「フィジカルアセスメント特論」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師2」から「教授2、准教授3、講師2」、兼任・兼任を「1」から「0」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により、「看護理論特論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・兼任教員の死去に伴う後任補充により、「リスクマネジメント」の専任教員等の配置を「専任教員0」から「教授1」、兼任・兼任を「2」から「1」に変更。
- ・兼任教員の死去に伴う後任補充により、「組織管理学特論」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1、助教1」に、兼任・兼任を「1」から「0」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により、「家族看護特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授0、准教授1」に変更。
- ・兼任教員の就任辞退により、「看護管理特論」の兼任・兼任を「1」から「0」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により、「臨床実践看護特論」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退に伴う後任補充により、「成人急性期看護特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0、准教授1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により、「臨床実践看護演習」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師2、助教1」から「教授1、准教授1、講師2、助教1」に変更。
- ・兼任教員の就任辞退により、「生活支援看護演習」の兼任・兼任を「2」から「1」に変更。
- ・専任教員2名の就任辞退により、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授10、准教授4、講師2、助教1」から「教授9、准教授4、講師2、助教1」に変更。

【令和元年度】

- ・兼任教員の就任辞退に伴う後任補充により、「多職種連携医療論Ⅱ」の兼任・兼任を「1」から「2」に変更。
- ・専任教員の就任辞退に伴う後任補充および教育の充実を図ることを目的とし兼任教員に代えて専任教員を新規採用したことにより、「健康増進科学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授0」に、兼任・兼任を「2」から「1」に変更。
- ・教育の充実を図ることを目的とし兼任教員に代えて専任教員を新規採用したことにより、「地域保健医療論」の専任教員等の配置を「専任教員0」から「教授1」に、兼任・兼任を「1」から「0」に変更。
- ・専任教員の就任辞退に伴い後任教員の担当科目が増加したため、その負担を減らす目的で新たに専任教員を採用したことにより、「看護研究方法論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授0」に変更。
- ・専任教員の就任辞退に伴い後任教員の担当科目が増加したため、その負担を減らす目的で新たに専任教員を採用したことにより、「看護研究方法論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授0」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び辞任に伴う後任補充により、「フィジカルアセスメント特論」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、講師2」から「教授4、准教授1、講師1」に変更。
- ・専任教員の辞任に伴う後任補充により、「看護の基盤特論」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授2、講師0」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「看護技術特論」の専任教員等の配置を「講師1、助教1」から「教授1、講師0、助教1」に変更。
- ・専任教員の辞任に伴う後任補充および教育の充実を図ることを目的とし専任教員を新規採用したことにより、「看護の基盤演習」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教1」から「教授3、講師0、助教1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退に伴う後任補充および専任教員の辞任により、「臨床実践看護演習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師2、助教1」から「教授1、准教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・教育の充実を図ることを目的とし兼任教員に代えて専任教員を新規採用したことにより、「生活支援看護特論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に、兼任・兼任を「1」から「0」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「在宅看護学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
- ・専任教員の辞任および教育の充実を図ることを目的とし兼任教員に代えて専任教員を新規採用したことにより、「生活支援看護演習」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2」から「教授4、准教授1」に、兼任・兼任「1」から「0」に変更。
- ・専任教員の就任辞退および辞任に伴う後任補充および教育の充実を図ることを目的とし専任教員を新規採用したことにより、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授9、准教授4、講師2、助教1」から「教授12、准教授3、講師0、助教1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	32 科目	0 科目	43 科目	11 科目 [0]	32 科目 [0]	0 科目 [0]	43 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{43} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	純真短期大学（必要面積：3,600㎡、収容定員：360人）および純真高等学校（必要面積：4,520㎡、収容定員770人）と共用 借用面積：2,269㎡ 借用期間：20年間 (H30.4.1~H50.3.31) [運動場用地]校地校舎と別地（スクールバスで15分）		
	校 舎 敷 地	16,672.69 ㎡	6,873.40 ㎡	5,135.96 ㎡	28,682.05 ㎡			
	運 動 場 用 地	9,503.17 ㎡	0.00 ㎡	32,381.58 ㎡	41,884.75 ㎡			
	小 計	26,175.86 ㎡	6,873.40 ㎡	37,517.54 ㎡	70,566.80 ㎡			
	そ の 他	735.35 ㎡	4,684.20 ㎡	1,457.05 ㎡	6,876.60 ㎡			
合 計	26,911.21 ㎡	11,557.60 ㎡	38,974.59 ㎡	77,443.40 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	23,985.76 ㎡	7,865.32 ㎡	5,804.75 ㎡	37,655.83 ㎡	純真短期大学（必要面積：3,900㎡）と共用借用面積：5,138.07㎡（内、使用面積：2,673.51㎡）借用期間：20年（H30.4.1~H50.3.31）		
	(23,985.76 ㎡)	(7,865.32 ㎡)	(5,804.75 ㎡)	(37,655.83 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	30 室	14 室	33 室	4 室 (補助職員 1 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		就任予定教員の退職のため(30) 就任予定教員の退職のため(元)		
	大学院保健医療学研究科			45 47 51	室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
		冊	種	[うち外国書]				
		大学院保健医療学研究科	33,645 [3,161] (32,623 [3,005])	168 [77] (168 [77])				6 [6] (6 [6])
計	33,645 [3,161] (32,623 [3,005])	168 [77] (168 [77])	6 [6] (6 [6])	1,865 (1,812)	4,214 (4,214)	45 (45)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	1,741.10 ㎡		284 席		60,500 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	588.67 ㎡		テニスコート2面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	150 千円	150 千円	図書購入費	13,135 千円	13,331 千円	13,331 千円
		共同研究費等	2,000 千円	2,000 千円	設備購入費	31,010 千円	20,000 千円	20,000 千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,200 千円	1,000 千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
純真学園大学大学院										
保健医療学研究科	2	12	-	24		0.87		平成30年度	<筑紫丘キャンパス> 福岡県福岡市南区筑紫丘1-1-1	
看護学専攻	2	6	-	12	修士 (看護学)	0.83		平成30年度	<百道浜キャンパス>	
保健衛生学専攻	2	6	-	12	修士(保健 衛生)	0.91		平成30年度	福岡県福岡市中央区地行浜1-8-1	
大学の名称										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
純真学園大学										
保健医療学部	4	295	-	1070		1.11		平成23年度	福岡県福岡市南区筑紫丘1-1-1	
看護学科	4	100	-	360	学士 (看護学)	1.09	平成30年度	平成23年度		定員変更(20)
放射線技術科学科	4	80	-	280	学士(保健 衛生学)	1.13	平成30年度	平成23年度		定員変更(20)
検査科学科	4	75	-	270	学士(保健 衛生学)	1.12	平成30年度	平成23年度		定員変更(15)
医療工学科	4	40	-	160	学士(保健 衛生学)	1.10		平成23年度		
大学の名称										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
純真短期大学										
食物栄養学科	2	80	-	160	短期大学士 (食物栄養)	0.68		昭和34年度	福岡県福岡市南区筑紫丘1-1-1	
こども学科	2	100	-	200	短期大学士 (幼児教育)	0.74		平成18年度		
大学の名称										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
埼玉純真短期大学										
こども学科	2	150	-	300	短期大学士 (こども学)	1.01		昭和58年度	埼玉県羽生市下岩瀬430	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学研究科 看護学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成30年4月1日より、既存の学部におけるFD委員会に大学院各専攻から選出された委員が構成員として追加し、合同となるFD委員会に拡充した。また、SDについては委員会の設置はないが、事務職員役職者会議においてSDにおける年間活動計画などを協議している。（委員会規定については、別添資料あり）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

委員会は規程において原則、毎月1回以上開催することとしており、平成31年度も同様に開催する予定である。SDについても、原則、毎月1回以上開催予定の事務職員役職者会議においてSDにおける年間活動計画などを協議する。

c 委員会の審議事項等

FD委員会については、活動が組織的かつ持続的に実行されるよう、規程において

- ・ FD活動の企画及び立案
- ・ FD活動の実施計画の立案
- ・ FD活動の評価
- ・ FD活動に関する情報の収集と提供
- ・ その他、学長の諮問する事項

について審議することとしており、SDについても準用することとしている。

② 実施状況

a 実施内容

□平成31年度の実施計画としては、

研究教育活動、大学院、学生への対応、ハラスメントに関することについて研修会を企画している。また、相互授業参観や授業評価アンケートを実施し、教員は更なる教育の質的向上のために、学生は自身の学修の到達状況や、学習姿勢の改善に活用できるように実施する。学科別FD研修会を開催し、学科の特性に沿った教育課題について実施する。

□平成30年度の実施計画として、

講義形式だけでなく、グループワーク、ワークショップなど活用し、活発に討議できる研修会実施した。「ベストレクチャー賞」を受賞した教員における公開授業の開催や、相互授業参観、授業評価アンケートを実施し、教員同士が相互に授業の改善を図り、教育の質向上につなげられたと考える。研究の質的向上については、研究倫理に関するe-ラーニングプログラム研修を教職員全員に実施した。また、それぞれの学科の目標とする教育を実現するために、学科別FD研修会も開催した。

SD研修会

職員の資質の向上として、学内担当部門による戦略的広報活動に関する研修会や外部奨学金制度の研修会、IR担当による学生の満足度を向上させるためのワークショップを実施した。また、リスクマネジメントの観点からFDと合同により、外部講師を招致しハラスメントについての講演会を実施した。

b 実施方法

□平成31年度の実施方法としては、
学内講師及び外部講師を招致した研修会
ICT教育を活用した研修会
学生による授業評価を反映させた研修会
教員相互の授業参観
学科別FD研修会
を予定している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成30年度のFD・SD研修会の開催については、下記のとおりである。

FD研修会

FD研修会へ参加しやすいように、6つの研修を年間・計9回実施した。ICTを活用した研修や外部講師を招聘しての研修、教員相互の授業参観、及び学科別FDを実施した。

SD研修会

各部門における業務内容研修会や学生の満足度向上に向けたグループワークなどを実施した。

□平成30年度の実施結果として、

FD研修会

- 第1回FD研修会 平成30年5月30日（水）、5月31日（木） 参加者 教員 62名 事務職員 3名
「自己評価システムの操作方法について」 外部講師招聘、ワークショップ形式
- 第2回FD研修会 平成30年6月18日（月）、6月19日（火） 参加者 教員 65名 事務職員 2名
「到達度自己評価システムを活用した教育活動を考える」、ワークショップ形式
- 第3回FD研修会 平成30年9月13日（木）、9月18日（火） 参加者 教員 73名 事務職員 2名
「学生が主体的に学ぶための授業づくりについて考える」、ワークショップ形式
- 第4回FD研修会 平成30年10月25日（木） 参加者 教員 33名 事務職員 2名
「実践能力強化型チーム医療加速プログラムの実践と評価」 外部講師招聘
「チーム医療において求められる医療技術者の役割」 本学教員
- 第5回FD研修会 平成30年11月22日（木） 参加者 教員 72名 事務職員 10名
「アカデミック・ハラスメントに関する研修会」 外部講師招聘
- 第6回FD研修会 平成30年1月18日（木） 参加者 教員 71名 事務職員 2名
「平成28年度 ベストレクチャー賞受賞者による公開授業」

SD研修会

- 第1回SD研修会 平成30年5月31日（木） 参加者 事務職員22名 教員2名
「平成31年度入試制度説明会」
- 第2回SD研修会 平成30年8月30日（木） 参加者 事務職員30名
「学生満足度の向上へ向けて ワークショップ」
- 第3回SD研修会 平成30年11月22日（木） 参加者 事務職員10名 教員72名
「アカデミック・ハラスメントとは ～その理解と対応～」
- 第2回SD研修会 平成30年12月25日（火） 参加者 事務職員24名
「日本学生支援機構奨学金の仕組みと学生のメンタルケアについて」

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

相互授業参観では、学科の垣根を越えて意見やアドバイスを教員へ直接フィードバックしている。また、ベストレクチャー賞受賞者による公開授業、並びに学生の授業評価を基にした授業の振り返りを行うことで、自身の授業に対する気づきや改善点を見つけ、授業をあらたに考える機会を持つことができた。学生アンケートについては、各教員からのフィードバックを行うことで、学生と教員の授業に対する意識の違いなどを明確にし、授業改善に役立てられたと考える。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

保健医療学研究科における学生の授業評価については、対象となる学生が少ないことから回答者の特定が容易となるため、従来の授業評価アンケートの実施は見送った。この代わりとして、平成31年1月30日（水）に研究科長、研究科長補佐と大学院生が参加して「大学院懇談会」を開催し、授業改善や教育環境の改善に向けて意見交換を行った。

b 教員や学生への公開状況、方法等

「大学院懇談会」で出された学生の意見については、平成31年2月21日（木）に開催された研究科委員会に報告して教員間での情報共有を行った。また個別の対応が可能な事案については、研究科及び事務局にて対応を進めている。学生に対しては、対応が完了した事案から順次報告を行う予定である。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学保健医療学研究科は、本学保健医療学部でのそれぞれの学科における多職種連携教育（IPE）や純真学という全人的医療人教育を基盤とし、地域医療が抱える様々な保健医療福祉上の課題に対して、多職種連携の視点から看護学、放射線技術学、臨床検査学、臨床医工学における課題を共通して学び、また研究を通して看護学系と保健医療技術系のそれぞれの専門性を深めて、地域医療で中核となって活躍することのできる人材養成を目指すことを目的としている。

この設置の趣旨・目的について、学生募集活動の中で入学案内パンフレット、募集要項等により周知を図るとともに、応募者に対しては入学試験前に研究テーマ等に関する事前相談を実施した。この結果、平成31年度において研究科入学定員12名に対して11名（看護学専攻：5名、保健衛生学専攻：6名）が入学するに至り、在籍者は21名となった。2期生11名のうち6名が長期履修制度を利用し、また、一部の学生は指導者として研鑽を積む機会を得ることを目的として、ティーチング・アシスタント制度を利用している。

入学後、研究仮テーマが提出され、4月の研究科運営委員会、研究科委員会の承認ののち、指導教員が決定した。保健衛生学専攻は5月の研究計画書提出に向け準備をはじめており、看護学専攻では、1期生と2期生が同じ科目を受講する時間で、院生間の情報共有を行いながら学修を進めている。2期生については、平成31年度前期・中間発表会で報告を予定している。平成31年度前期の中間発表会は、1期生の研究成果を2期生が聴講できる機会でもあり、研究科としての研究環境整備が進んでいる。

施設設備等については、当初計画通り、旧独立行政法人国立病院機構九州医療センター附属福岡看護助産学校の校舎及び敷地を平成30年4月より賃貸借契約により借用しており、「百道浜キャンパス」として運用すると共に、教室、院生研究室、研究科長室、事務室等の整備を進めた。院生の増加に伴い、院生研究室のPCを一人1台 使用できるよう整備した。筑紫丘キャンパスにも設置している院生研究室の学生用PCと共用で利用できる共有フォルダの整備等を行い、両キャンパス間を移動する学生の学修や研究の便宜を図っている。学生及び教職員の移動については百道浜キャンパスでの授業時間に合わせて、両キャンパス間を結ぶシャトルバスを運行している。さらに、学生及び教職員の利便性を図るため、九州医療センター内駐車場を無料で利用できるよう整備した。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
 - ・平成30年度「自己点検・評価報告書」を令和元年10月1日 公表予定
- b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開（令和元年10月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28（2016）年度に、評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）による認証評価を受審し、「適合」の評価を得た。次回は令和5（2023）年度までに同機構による認証評価を受審すべく、検討中である。

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和元年度)

- a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)
b 公表有の場合の公表(予定)時期 (令和元年 8月 1日)
b 公表無の場合の特段の理由 ()

- (注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人純真学園

(2) 大学名

純真学園大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒815-8510

福岡県福岡市南区筑紫丘1丁目1番1号

〒810-0065

福岡県福岡市中央区地行浜1丁目8番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フクダ ヨウノスケ) 福田 庸之助 (平成12年2月17日)		
学長	(フクダ ヨウノスケ) 福田 庸之助 (平成23年4月1日)		
副学長	(カトウ リョウジ) 加藤 亮二 (平成27年4月1日)	後任なし	平成31年3月31日任期満了による退任(元)
	(ムラナカ トオル) 村中 光 (平成30年4月1日)		
研究科長	(ムラナカ トオル) 村中 光 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学研究科 保健衛生学専攻 修士(保健衛生学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	2年	6人	- 年次人	12人	基礎となる学部等 保健医療学部 放射線技術科 検査科学科 医療工科学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	6	-	6	-	0.91 倍	-	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	0.83	-	1.00	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	5 [-] (-)	- [-] (-)	6 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	5 [-] (-)	- [-] (-)						
3年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)					
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	5 [-] (-)	[-] (-)	11 [-] (-)	[-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	
平成28年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
平成29年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	5 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	11 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学研究科 保健衛生学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	多職種連携医療論Ⅰ	1前	1			1	2					5
	多職種連携医療論Ⅱ	2前	1			1						3
	保健医療技術論	1前	1			3						1
	コンサルテーション論	1後	1			1						2
	健康増進科学	1前		1								3
	食品機能学	1後		1		2	1					1
	医療倫理論	1・2前		1								1
	医療マネジメント論	1・2前		1								1
	医療政策論	1・2前		1								1
	医療統計学	1・2前		1		1						
	災害医療論	1後		1		3						1
	地域保健医療論	1前		1								2
	保健医療情報論	1前		1		1						
	実践医療英語	1前		1		1	2					
小計(14科目)	-		4	10	0	11	5	0	0	0		15
専攻共通科目	保健医療研究方法論Ⅰ	1前	1			2						2
	保健医療研究方法論Ⅱ	1後	1			3	1	1				3
	先端医療技術論	1後	1			3	1					
	保健医療機器論	1後		1		5	1					
	保健医療総合管理学	2前		1		1	1					2
	保健医療教育方法論	2前		1		1						1
	臨床栄養管理	1前		1								2
	病態生理学	1前		1		1						
	医学英語論文講読	1後		1		1	2					
	英語プレゼンテーション	2前		1			2					1
	小計(10科目)	-		3	7	0	11	5	1	0	0	
放射線技術学分野	応用放射線物理学特論	1後		2			1					
	放射線物理学演習	2前		1			1					
	放射線生物学特論	1後		2		1						
	放射線生物学演習	2前		1		1						
	小計(4科目)	-		0	6	0	1	1	0	0	0	0
	医用画像解析・情報学特論	1後		2		2	1					
	医用画像解析・情報学演習	2前		1		3	1					
	放射線治療技術学特論	1後		2		1						
	放射線治療技術学演習	2前		1		1						
	小計(4科目)	-		0	6	0	4	1	0	0	0	0
臨床検査学分野	病因・生体防御検査学特論	1後		2		1	2					
	病因・生体防御検査学演習	2前		1		1	2					
	生体化学検査学特論	1後		2		1	2					
	生体化学検査学演習	2前		1		1	2					
	小計(4科目)	-		0	6	0	2	4	0	0	0	0
	生体機能検査学特論	1後		2		2		1				
	生体機能検査学演習	2前		1		2		1				
	病態検査学特論	1後		2		1	2					
	病態検査学演習	2前		1		1	2					
	小計(4科目)	-		0	6	0	3	2	1	0	0	0

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	多職種連携医療論Ⅰ	1前	1			1	2					5
	多職種連携医療論Ⅱ	2前	1			0	1					3
	保健医療技術論	1前	1			3						1
	コンサルテーション論	1後	1			0						3
	健康増進科学	1前		1								2
	食品機能学	1後		1		1	1					2
	医療倫理論	1・2前		1								1
	医療マネジメント論	1・2前		1								1
	医療政策論	1・2前		1								1
	医療統計学	1・2前		1		1						
	災害医療論	1後		1		3						1
	地域保健医療論	1前		1								1
	保健医療情報論(未開講)	1前		1		1						
	実践医療英語	1前		1		1	2					
小計(14科目)	-		4	10	0	9	6	0	0	0		16
専攻共通科目	保健医療研究方法論Ⅰ	1前	1			2						2
	保健医療研究方法論Ⅱ	1後	1			3	1	1				3
	先端医療技術論	1後	1			3	1					
	保健医療機器論	1後		1		4	1	1				
	保健医療総合管理学	2前		1		0	1	1				2
	保健医療教育方法論	2前		1		1						1
	臨床栄養管理	1前		1								2
	病態生理学	1前		1		1						
	医学英語論文講読	1後		1		1	2					
	英語プレゼンテーション(未開講)	2前		1			2					1
	小計(10科目)	-		3	7	0	10	5	2	0	0	
放射線技術学分野	応用放射線物理学特論	1後		2			1					
	放射線物理学演習(未開講)	2前		1			1					
	放射線生物学特論	1後		2		1						
	放射線生物学演習	2前		1		1						
	小計(4科目)	-		0	6	0	1	1	0	0	0	0
	医用画像解析・情報学特論	1後		2		2	1					
	医用画像解析・情報学演習	2前		1		3	1					
	放射線治療技術学特論	1後		2		0		1				
	放射線治療技術学演習(未開講)	2前		1		0		1				
	小計(4科目)	-		0	6	0	3	1	1	0	0	0
臨床検査学分野	病因・生体防御検査学特論	1後		2		0	3					
	病因・生体防御検査学演習(未開講)	2前		1		0	3					
	生体化学検査学特論	1後		2		0	2	1				
	生体化学検査学演習(未開講)	2前		1		0	2	1				
	小計(4科目)	-		0	6	0	0	5	1	0	0	0
	生体機能検査学特論	1後		2		2		1				
	生体機能検査学演習	2前		1		2		1				
	病態検査学特論	1後		2		1	2					
	病態検査学演習	2前		1		1	2					
	小計(4科目)	-		0	6	0	3	2	1	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
分野専門科目	臨床工学特論	1後		2		1						
	臨床工学演習	2前		1		1						
	臨床医学特論	1後		2		1						
	臨床医学演習	2前		1		1						
	小計(4科目)	-	0	6	0	2	0	0	0	0	0	0
	予防・診断医療機器学特論	1後		2		1						
	予防・診断医療機器学演習	2前		1		1						
	治療・福祉医療機器学特論	1後		2		2						
	治療・福祉医療機器学演習	2前		1		2						
	小計(4科目)	-	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0
特別研究	特別研究	1~2通	10			16	9	3				
小計(1科目)	-	10	0	0	16	9	3	0	0	0	0	
合計(49科目)	-	17	53	0	16	9	3	0	0	0	21	
卒業要件及び履修方法												
研究科共通科目8単位以上(必修4単位、選択4単位以上)、専攻共通科目6単位以上(必修3単位、選択3単位以上)、分野専門科目から6単位以上(うち、研究指導を受ける教員が指定する特論および演習から3単位)、および特別研究10単位の30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本大学院が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
分野専門科目	臨床工学特論	1後		2		1						
	臨床工学演習	2前		1		1						
	臨床医学特論	1後		2		1						
	臨床医学演習	2前		1		1						
	小計(4科目)	-	0	6	0	2	0	0	0	0	0	0
	予防・診断医療機器学特論	1後		2		1						
	予防・診断医療機器学演習	2前		1		1						
	治療・福祉医療機器学特論	1後		2		1						1
	治療・福祉医療機器学演習	2前		1		1						1
	小計(4科目)	-	0	6	0	2	0	0	0	0	0	1
特別研究	特別研究	1~2通	10			12	10	5				
小計(1科目)	-	10	0	0	12	10	5	0	0	0	0	
合計(49科目)	-	17	53	0	12	10	5	0	0	0	21	
卒業要件及び履修方法												
研究科共通科目8単位以上(必修4単位、選択4単位以上)、専攻共通科目6単位以上(必修3単位、選択3単位以上)、分野専門科目から6単位以上(うち、研究指導を受ける教員が指定する特論および演習から3単位)、および特別研究10単位の30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本大学院が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	多職種連携医療論Ⅰ	1前	1			1	2					5
	多職種連携医療論Ⅱ	2前	1			0	1					3
	保健医療技術論	1前	1			3						1
	コンサルテーション論	1後	1			0						3
	健康増進科学(未開講)	1前		1								3
	食品機能学	1後		1		1	1					2
	医療倫理論	1・2前		1								1
	医療マネジメント論	1・2前		1								1
	医療政策論	1・2前		1								1
	医療統計学	1・2前		1		1						1
	災害医療論	1後		1		3						1
	地域保健医療論(未開講)	1前		1								1
	保健医療情報論	1前		1		1						
	実践医療英語	1前		1		1	2					
小計(14科目)	-	4	10	0	9	6	0	0	0	0	15	
専攻共通科目	保健医療研究方法論Ⅰ	1前	1			2						2
	保健医療研究方法論Ⅱ	1後	1			3	1	1				3
	先端医療技術論	1後	1			3	1					
	保健医療機器論	1後		1		4	1					1
	保健医療総合管理学	2前		1		0	1					2
	保健医療教育方法論	2前		1		1						1
	臨床栄養管理	1前		1								2
	病態生理学	1前		1		1						
	医学英語論文講読(未開講)	1後		1		1	2					
	英語プレゼンテーション	2前		1			2					1
小計(10科目)	-	3	7	0	10	5	1	0	0	0	11	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
放射線技術学領域	放射線物理学特論(未開講)	1後		2			1					
	放射線物理学演習	2前		1			1					
	放射線生物学特論	1後		2		1						
	放射線生物学演習	2前		1		1						
	小計(4科目)	-	0	6	0	1	1	0	0	0	0	0
	医用画像解析・情報学特論	1後		2		2	1					
	医用画像解析・情報学演習	2前		1		3	1					
	放射線治療技術学特論(未開講)	1後		2		0						
	放射線治療技術学演習	2前		1		0						
	小計(4科目)	-	0	6	0	3	1	0	0	0	0	0
臨床検査学領域	病因・生体防御検査学特論(未開講)	1後		2		0	3					
	病因・生体防御検査学演習	2前		1		0	3					
	生体化学検査学特論(未開講)	1後		2		0	2	1				
	生体化学検査学演習	2前		1		0	2	1				
	小計(4科目)	-	0	6	0	0	5	1	0	0	0	0
	生体機能検査学特論	1後		2		2		1				
	生体機能検査学演習	2前		1		2		1				
	病態検査学特論	1後		2		1	2					
	病態検査学演習	2前		1		1	2					
	小計(4科目)	-	0	6	0	3	2	1	0	0	0	0
臨床工学領域	臨床工学特論	1後		2		1						
	臨床工学演習	2前		1		1						
	臨床医工学特論	1後		2		1						
	臨床医工学演習	2前		1		1						
	小計(4科目)	-	0	6	0	2	0	0	0	0	0	0
	予防・診断医療機器学特論(未開講)	1後		2		1						
	予防・診断医療機器学演習	2前		1		1						
	治療・福祉医療機器学特論(未開講)	1後		2		2						
	治療・福祉医療機器学演習	2前		1		2						
	小計(4科目)	-	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0
特別研究	特別研究	1~2通	10			13	10	4				
	小計(1科目)	-	10	0	0	13	10	4	0	0	0	0
合計(49科目)		-	17	53	0	13	10	4	0	0	21	

卒業要件及び履修方法

研究科共通科目8単位以上(必修4単位、選択4単位以上)、専攻共通科目6単位以上(必修3単位、選択3単位以上)、分野専門科目から6単位以上(うち、研究指導を受ける教員が指定する特論および演習から3単位)、および特別研究10単位の30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本大学院が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・専任教員の就任辞退に伴う後任補充により、「多職種連携医療論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0、准教授1」に変更。
 ・専任教員の死去に伴う後任補充により、「コンサルテーション論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼任を「2」から「3」に変更。
 ・専任教員の死去により、「食品機能学」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授1」に変更、兼任・兼任を「1」から「2」に変更。
 ・兼任教員の就任辞退により、「地域保健医療論」の兼任・兼任を「2」から「1」に変更。
 ・専任教員の辞任に伴う後任補充により、「保健医療機器論」の専任教員等の配置を「教授5、准教授1」から「教授4、准教授1」、兼任・兼任を「0」から「1」に変更。
 ・専任教員の辞任により、「保健医療総合管理学」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授0、准教授1」に変更。
 ・専任教員の辞任により、「放射線治療技術学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
 ・専任教員の辞任により、「放射線治療技術学演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
 ・専任教員の就任辞退に伴う後任補充により、「病因・生体防御検査学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授0、准教授3」に変更。
 ・専任教員の就任辞退に伴う後任補充により、「病因・生体防御検査学演習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授0、准教授3」に変更。
 ・専任教員の死去に伴う後任補充により、「生体化学検査学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授0、准教授2、講師1」に変更。
 ・専任教員の死去に伴う後任補充により、「生体化学検査学演習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授0、准教授2、講師1」に変更。
 ・専任教員の就任辞退、死去およびそれらに伴う後任補充により、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授16、准教授9、講師3」から「教授13、准教授10、講師4」に変更。

【令和元年度】

・兼任教員の辞任に伴う後任補充および教育の充実を図ることを目的とし看護学専攻の専任教員を新規採用したことにより、「健康増進科学」の兼任・兼任を「3」から「2」に変更。
 ・専任教員の辞任に伴う後任補充により、「保健医療機器論」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1」から「教授4、准教授1、講師1」、兼任・兼任を「1」から「0」に変更。
 ・専任教員の辞任に伴う後任補充により、「保健医療総合管理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、講師1」に変更。
 ・専任教員の辞任に伴う後任補充により、「放射線治療技術学特論」の専任教員等の配置を「専任教員0」から「講師1」に変更。
 ・専任教員の辞任に伴う後任補充により、「放射線治療技術学演習」の専任教員等の配置を「専任教員0」から「講師1」に変更。
 ・専任教員の辞任により、「治療・福祉医療機器学特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、兼任・兼任を「0」から「1」に変更。
 ・専任教員の辞任により、「治療・福祉医療機器学演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、兼任・兼任を「0」から「1」に変更。
 ・専任教員の辞任および辞任に伴う後任補充により、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授13、准教授10、講師4」から「教授12、准教授10、講師5」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
8 科目	41 科目	0 科目	49 科目	8 科目 [0]	41 科 [0]	0 科目 [0]	49 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{49} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	純真短期大学（必要面積：3,600㎡、収容定員：360人）および純真高等学校（必要面積：4,520㎡、収容定員770人）と共用 借用面積：2,269㎡ 借用期間：20年間 (H30.4.1~H50.3.31) [運動場用地]校地校舎と別地（スクールバスで15分）		
	校 舎 敷 地	16,672.69 ㎡	6,873.40 ㎡	5,135.96 ㎡	28,682.05 ㎡			
	運 動 場 用 地	9,503.17 ㎡	0.00 ㎡	32,381.58 ㎡	41,884.75 ㎡			
	小 計	26,175.86 ㎡	6,873.40 ㎡	37,517.54 ㎡	70,566.80 ㎡			
	そ の 他	735.35 ㎡	4,684.20 ㎡	1,457.05 ㎡	6,876.60 ㎡			
合 計	26,911.21 ㎡	11,557.60 ㎡	38,974.59 ㎡	77,443.40 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	23,985.76 ㎡	7,865.32 ㎡	5,804.75 ㎡	37,655.83 ㎡	純真短期大学（必要面積：3,900㎡）と共用借用面積：5,138.07㎡（内、使用面積：2,673.51㎡）借用期間：20年（H30.4.1~H50.3.31）		
	(23,985.76 ㎡)	(7,865.32 ㎡)	(5,804.75 ㎡)	(37,655.83 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設			
	30 室	14 室	33 室	4 室 (補助職員 1 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		就任予定教員の退職のため(30) 就任予定教員の退職のため(元)		
	大学院保健医療学研究科			45 47 51	室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]	[うち外国書]	点	点	点	
		冊	種	種				
		冊	種	種				
大学院保健医療学研究科	33,645 [3,161] (32,623 [3,005])	168 [77] (168 [77])	6 [6] (6 [6])	1,865 (1,812)	4,214 (4,196)	45 (45)		
計	33,645 [3,161] (32,623 [3,005])	168 [77] (168 [77])	6 [6] (6 [6])	1,865 (1,812)	4,214 (4,214)	45 (45)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	1,741.10 ㎡	284 席		60,500 冊				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	588.67 ㎡	テニスコート2面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	150 千円	150 千円	図書購入費	13,135 千円	13,331 千円	13,331 千円
		共同研究費等	2,000 千円	2,000 千円	設備購入費	31,010 千円	20,000 千円	20,000 千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,200 千円	1,000 千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
純真学園大学大学院										
保健医療学研究科	2	12	-	24		0.87		平成30年度	<筑紫丘キャンパス> 福岡県福岡市南区筑紫丘1-1-1	
看護学専攻	2	6	-	12	修士 (看護学)	0.83		平成30年度	<百道浜キャンパス>	
保健衛生学専攻	2	6	-	12	修士(保健衛生)	0.91		平成30年度	福岡県福岡市中央区地行浜1-8-1	
大学の名称	純真学園大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
保健医療学部	4	295		1070		1.11		平成23年度	福岡県福岡市南区筑紫丘1-1-1	
看護学科	4	100	-	360	学士 (看護学)	1.09	平成30年度	平成23年度		定員変更(20)
放射線技術科学科	4	80	-	280	学士(保健衛生学)	1.13	平成30年度	平成23年度		定員変更(20)
検査科学科	4	75	-	270	学士(保健衛生学)	1.12	平成30年度	平成23年度		定員変更(15)
医療工学科	4	40	-	160	学士(保健衛生学)	1.10		平成23年度		
大学の名称	純真短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
食物栄養学科	2	80	-	160	短期大学士 (食物栄養)	0.68		昭和34年度	福岡県福岡市南区筑紫丘1-1-1	
こども学科	2	100	-	200	短期大学士 (幼児教育)	0.74		平成18年度		
大学の名称	埼玉純真短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
こども学科	2	150	-	300	短期大学士 (こども学)	1.01		昭和58年度	埼玉県羽生市下岩瀬430	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (平成29年8月)	設置趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項 本学では、生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性をはぐくみ、保健・医療・福祉の分野において社会の養成に応え得る専門知識・技術・態度を兼ね備えた人材の育成を目指しており、本学保健医療学部でのそれぞれの学科における専門教育及び全人的医療人教育を基盤としたうえで、大学院における研究を通して看護学系と保健医療技術系のそれぞれの専門性を深め、地域医療で中核となって活躍できる人材育成を設置の趣旨としている。教育研究活動の充実のため、提携している九州医療センターとの間で臨床研究専門部会を立ち上げ、共同して研究が行える体制を構築している。また、特別研究担当教員については、研究費の増額配分などを行い、さらに各教員が自由に研究を行えるよう、年間38日間を研究日として定め、教員の更なる資質の向上を目指すこととしている。前期中は百道浜キャンパスでの開講となるため、教員・学生の筑紫丘キャンパスからの移動についても、シャトルバスを定期的に運行し、負担軽減を図っている。(30)	履行済
設置計画履行状況調査時 (平成30年2月)	該当なし		
設置計画履行状況調査時 (平成31年3月)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学研究科 保健衛生学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成30年4月1日より、既存の学部におけるFD委員会に大学院各専攻から選出された委員が構成員として追加し、合同となるFD委員会に拡充した。また、SDについては委員会の設置はないが、事務職員役職者会議においてSDにおける年間活動計画などを協議している。（委員会規定については、別添資料あり）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

委員会は規程において原則、毎月1回以上開催することとしており、平成31年度も同様に開催する予定である。SDについても、原則、毎月1回以上開催予定の事務職員役職者会議においてSDにおける年間活動計画などを協議する。

c 委員会の審議事項等

FD委員会については、活動が組織的かつ持続的に実行されるよう、規程において

- ・ FD活動の企画及び立案
- ・ FD活動の実施計画の立案
- ・ FD活動の評価
- ・ FD活動に関する情報の収集と提供
- ・ その他、学長の諮問する事項

について審議することとしており、SDについても準用することとしている。

② 実施状況

a 実施内容

□平成31年度の実施計画としては、

研究教育活動、大学院、学生への対応、ハラスメントに関することについて研修会を企画している。また、相互授業参観や授業評価アンケートを実施し、教員は更なる教育の質的向上のために、学生は自身の学修の到達状況や、学習姿勢の改善に活用できるように実施する。学科別FD研修会を開催し、学科の特性に沿った教育課題について実施する。

□平成30年度の実施計画として、

講義形式だけでなく、グループワーク、ワークショップなど活用し、活発に討議できる研修会実施した。「ベストレクチャー賞」を受賞した教員における公開授業の開催や、相互授業参観、授業評価アンケートを実施し、教員同士が相互に授業の改善を図り、教育の質向上につなげられたと考える。研究の質的向上については、研究倫理に関するe-ラーニングプログラム研修を教職員全員に実施した。また、それぞれの学科の目標とする教育を実現するために、学科別FD研修会も開催した。

SD研修会

職員の資質の向上として、学内担当部門による戦略的広報活動に関する研修会や外部奨学金制度の研修会、IR担当による学生の満足度を向上させるためのワークショップを実施した。また、リスクマネジメントの観点からFDと合同により、外部講師を招致しハラスメントについての講演会を実施した。

b 実施方法

□平成31年度の実施方法としては、
学内講師及び外部講師を招致した研修会
ICT教育を活用した研修会
学生による授業評価を反映させた研修会
教員相互の授業参観
学科別FD研修会
を予定している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成30年度のFD・SD研修会の開催については、下記のとおりである。

FD研修会

FD研修会へ参加しやすいように、6つの研修を年間・計9回実施した。ICTを活用した研修や外部講師を招聘しての研修、教員相互の授業参観、及び学科別FDを実施した。

SD研修会

各部門における業務内容研修会や学生の満足度向上に向けたグループワークなどを実施した。

□平成30年度の実施結果として、

FD研修会

- 第1回FD研修会 平成30年5月30日（水）、5月31日（木） 参加者 教員 62名 事務職員 3名
「自己評価システムの操作方法について」 外部講師招聘、ワークショップ形式
- 第2回FD研修会 平成30年6月18日（月）、6月19日（火） 参加者 教員 65名 事務職員 2名
「到達度自己評価システムを活用した教育活動を考える」、ワークショップ形式
- 第3回FD研修会 平成30年9月13日（木）、9月18日（火） 参加者 教員 73名 事務職員 2名
「学生が主体的に学ぶための授業づくりについて考える」、ワークショップ形式
- 第4回FD研修会 平成30年10月25日（木） 参加者 教員 33名 事務職員 2名
「実践能力強化型チーム医療加速プログラムの実践と評価」 外部講師招聘
「チーム医療において求められる医療技術者の役割」 本学教員
- 第5回FD研修会 平成30年11月22日（木） 参加者 教員 72名 事務職員 10名
「アカデミック・ハラスメントに関する研修会」 外部講師招聘
- 第6回FD研修会 平成30年1月18日（木） 参加者 教員 71名 事務職員 2名
「平成28年度 ベストレクチャー賞受賞者による公開授業」

SD研修会

- 第1回SD研修会 平成30年5月31日（木） 参加者 事務職員22名 教員2名
「平成31年度入試制度説明会」
- 第2回SD研修会 平成30年8月30日（木） 参加者 事務職員30名
「学生満足度の向上へ向けて ワークショップ」
- 第3回SD研修会 平成30年11月22日（木） 参加者 事務職員10名 教員72名
「アカデミック・ハラスメントとは ～その理解と対応～」
- 第2回SD研修会 平成30年12月25日（火） 参加者 事務職員24名
「日本学生支援機構奨学金の仕組みと学生のメンタルケアについて」

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

相互授業参観では、学科の垣根を越えて意見やアドバイスを教員へ直接フィードバックしている。また、ベストレクチャー賞受賞者による公開授業、並びに学生の授業評価を基にした授業の振り返りを行うことで、自身の授業に対する気づきや改善点を見つけ、授業をあらたに考える機会を持つことができた。学生アンケートについては、各教員からのフィードバックを行うことで、学生と教員の授業に対する意識の違いなどを明確にし、授業改善に役立てられたと考える。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

保健医療学研究科における学生の授業評価については、対象となる学生が少ないことから回答者の特定が容易となるため、従来の授業評価アンケートの実施は見送った。この代わりとして、平成31年1月30日（水）に研究科長、研究科長補佐と大学院生が参加して「大学院懇談会」を開催し、授業改善や教育環境の改善に向けて意見交換を行った。

b 教員や学生への公開状況、方法等

「大学院懇談会」で出された学生の意見については、平成31年2月21日（木）に開催された研究科委員会に報告して教員間での情報共有を行った。また個別の対応が可能な事案については、研究科及び事務局にて対応を進めている。学生に対しては、対応が完了した事案から順次報告を行う予定である。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学保健医療学研究科は、本学保健医療学部でのそれぞれの学科における多職種連携教育（IPE）や純真学という全人的医療人教育を基盤とし、地域医療が抱える様々な保健医療福祉上の課題に対して、多職種連携の視点から看護学、放射線技術学、臨床検査学、臨床医工学における課題を共通して学び、また研究を通して看護学系と保健医療技術系のそれぞれの専門性を深めて、地域医療で中核となって活躍することのできる人材養成を目指すことを目的としている。

この設置の趣旨・目的について、学生募集活動の中で入学案内パンフレット、募集要項等により周知を図るとともに、応募者に対しては入学試験前に研究テーマ等に関する事前相談を実施した。この結果、平成31年度において研究科入学定員12名に対して11名（看護学専攻：5名、保健衛生学専攻：6名）が入学するに至り、在籍者は21名となった。2期生11名のうち6名が長期履修制度を利用し、また、一部の学生は指導者として研鑽を積む機会を得ることを目的として、ティーチング・アシスタント制度を利用している。

入学後、研究仮テーマが提出され、4月の研究科運営委員会、研究科委員会の承認ののち、指導教員が決定した。保健衛生学専攻は5月の研究計画書提出に向け準備をはじめており、看護学専攻では、1期生と2期生が同じ科目を受講する時間で、院生間の情報共有を行いながら学修を進めている。2期生については、平成31年度前期・中間発表会で報告を予定している。平成31年度前期の中間発表会は、1期生の研究成果を2期生が聴講できる機会でもあり、研究科としての研究環境整備が進んでいる。

施設設備等については、当初計画通り、旧独立行政法人国立病院機構九州医療センター附属福岡看護助産学校の校舎及び敷地を平成30年4月より賃貸借契約により借用しており、「百道浜キャンパス」として運用すると共に、教室、院生研究室、研究科長室、事務室等の整備を進めた。院生の増加に伴い、院生研究室のPCを一人1台 使用できるよう整備した。筑紫丘キャンパスにも設置している院生研究室の学生用PCと共用で利用できる共有フォルダの整備等を行い、両キャンパス間を移動する学生の学修や研究の便宜を図っている。学生及び教職員の移動については百道浜キャンパスでの授業時間に合わせて、両キャンパス間を結ぶシャトルバスを運行している。さらに、学生及び教職員の利便性を図るため、九州医療センター内駐車場を無料で利用できるよう整備した。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
 - ・平成30年度「自己点検・評価報告書」を令和元年10月1日 公表予定
- b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開（令和元年10月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28（2016）年度に、評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）による認証評価を受審し、「適合」の評価を得た。次回は令和5（2023）年度までに同機構による認証評価を受審すべく、検討中である。

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和元年度)

- a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)
b 公表有の場合の公表(予定)時期 (令和元年 8月 1日)
b 公表無の場合の特段の理由 ()

- (注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。